

学校教育目標	『笑顔とやさしさをつなげていく北方の子』 (知)知識・技能を身に付け、共に学び合う中で培った力を、様々な場面で生かす子どもを育てます。 (徳)自他のよさを知り、共に大切にする思いやりの心を育てます。 (体)心身ともに健康で、進んで運動に取り組む、たくましい子どもを育てます。 (公)自分たちの地域を愛し、社会の一員として共にかかわる子どもを育てます。 (関)自分の役割を自覚し、自ら取り組む、自立した子どもを育てます。				
	創立 152 周年	学校長 伊藤 洋子	副校長 山田 宗資	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 593 人 主な関係校: 港中学校 仲尾台中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	港中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
情報活用能力 主体的に学ぼうとする能力	港中学校 元街小学校 北方小学校	○生涯にわたって主体的・創造的に生きる力を育もうとする子ども ○この地を愛し、この地から愛され、この地を創る子ども ・「多様な情報を活用し、主体的に考え、他者と協働しながら、自らの課題を解決しようとする子どもの育成」を目指して、校内で研究を進めていく。 ・港中学校ブロックだけでなく、仲尾台中学校とも情報交換や交流活動等をすすめ、2中学校区の北方小の現状を踏まえて、地域に生きる子どもを育成する。

中期取組目標	○誰もが安心して学ぶことができ、一人ひとりが個性を生かしながらお互いを認め合う、生き生きとした学校にします。 ・教職員との信頼関係をベースにして規範意識を醸成しながら、いじめのない学校・学級をつくります。 ・体験的な学習を大切に、個に応じた適切な指導と必要な支援に心がけ、「わかる」「できる」「おもしろい」授業づくりの推進により、学力の向上を図ります。また、情報モラルを高めながら、ICTを活用した教育を推進します。 ・異学年との交流や役割を果たす活動の中で自己有用感を育み、楽しく学校生活を送れるようにします。 ・地域とのつながりを意識した豊かななかかわりの中で、地域を愛する心と社会のために自ら行動しようとする力を育てます。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①自ら学ぼうとする能力と情報活用能力を育てるために、総合的な学習の時間や生活科を中心に、探究的な学習をつくる。 ②必要感や課題意識が生まれるように、実生活と結び付けたり、活動や体験を位置付けたりする。 ③子どもが発達段階に応じたICTの活用ができるようにするために、ICTを活用した学習づくりを進める。
担当	主題研究推進部、カリマネ推進部	
徳	人権教育	①自他の違いを認め、大切にし、生かす心が生まれるように、同じ目標や目的に向かって共に学習したり生活したりする活動を位置付ける。 ②教職員の人権意識の再確認と向上のために、校内及びブロック内での研修に取り組む。
担当	人権・福祉教育部、道徳部、特活部	
体	健康教育	①体力向上を図るために、北方ストレッチに継続して取り組むことを進める。 ②けがの予防や健康な体づくりへの意識を高めるために、委員会活動、学校保健委員会、保健や食に関わる指導等を進める。 ③プライベートゾーンの指導について、健康教育カリキュラムに明確に位置付け、適時適切に指導する。
担当	健康教育部、給食部、体育部、学校食育部	
公開	公共心と社会参画	①価値ある学校生活を自ら創ろうとする心が生まれるように、児童会活動(委員会活動・なかよし活動等)や学校行事の充実を図る。 ②自分と地域との関わりを見つめ、地域を愛する心が生まれるように、総合的な学習の時間や生活科を中心に、地域のよさにふれ、地域のためにできることを実践する学習をつくる。
担当	行事部、特活部、生活・総合部	
いじめへの対応		①いじめ防止対策委員会及び子どもへのアンケートを実施し、定期的な実態把握を行う。 ②教科分担制・TT・交換授業などの指導体制を工夫して、日常的に実態把握を行う。 ③いじめを積極的に認知し、子どもの心情に寄り添うことを徹底し、丁寧に組織的に対応する。
担当	特別支援・児童指導部、いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①学校運営に関わる意識の向上を図るために、各部での議論を踏まえたうえでの企画、機能的な分担による運営を行う。 ②メンター研や初任研は授業実践を主な内容とし、主体的・日常的な研修となるように工夫する。 ③教職員の裁量のある時間を生み出せるように、会議・研修の内容や方法を工夫する。
担当	教務部	
特別支援教育		①個別支援学級・国際教室・特別支援教室等で学ぶ子どもの指導計画や支援計画を、担当と担任が共有するとともに保護者と子どもの育ちを共有・確認しながら指導の充実を図る。 ②特別支援コーディネーターを窓口に、関係機関やSC、SSWと連携し、情報交換や相談、研修などを実施し、指導の質の向上を図る。
担当	特別支援・児童指導部、特別支援教育校内委員会	
児童指導		①規範意識を高め、自ら安全・安心な学校生活をつくらうとする態度が身に付くように、北方っ子ルールや生活目標等の意味や価値を踏まえて生活指導を行う。 ②SCやSSW、関係機関と連携し、家庭の状況を踏まえつつ、子どもに寄り添い、個に応じて指導する。
担当	特別支援・児童指導部	
地域学校協働活動		①学校運営協議会の安定的運営と充実を目指す。 ②総合的な学習の時間や生活科の学習を通して、地域の学習材(人・もの・こと)を発掘して活用する。 ③就学前教育を小中学校9年間で育てたい資質・能力につなげることを意識し、幼保小間や小中間の効果的な交流を行う。
担当	教務部	
担当		